

2019 アースビジョン多摩 映画会 自然との共生

EARTH VISION 多摩

2019.2.16(土)13:00~18:30
 パルテノン多摩 小ホール(定員304名) 全席自由

全日通し券
 前売り
 1000円!

全日1枚の
 チケットで
 出入り自由

2005年から自然との共生をテーマにした映画を上映!

第5回
 グリーンイメージ
 国際環境映像祭
 グリーンイメージ賞

半世紀の間、ダム建設に抗いふるさとを守り続ける人々。
 美しい里山に暮らす13世帯を巡るドキュメンタリー

真鍋トキコドキュメンタリーQ

ほたるの川の まもりびと

プロデューサー:山田英治、山田英治、山口誠二、監修:山田英治、撮影:山田英治、編集:山田英治、音楽:山田英治
 制作:MPG&A Better Start Today 2017年/日本/86分/アソビ/16:9/ドキュメンタリー 配給:さんさんフィルムズ
 copyright © 2017. All rights reserved. 山田英治 hotarurivivor.net

美しい、生きあつて
 水の底と川今の故郷

日本/2017/監督:山田英治

山形国際ドキュメンタリー映画祭
 アジア千波万波部門
 奨励賞・日本映画監督協会賞

W受賞
 オール

山形国際ドキュメンタリー映画祭
 アジア千波万波部門
 奨励賞・日本映画監督協会賞
 W受賞
 オール
 エンビ(国際映画祭)インドコンペティショングランプリ
 エンビ(国際映画祭)インドコンペティションベスト入賞
 WOMEXアワード(インド)コンペティションベスト入賞
 アムステルダム国際ドキュメンタリー映画祭
 アムステルダム国際ドキュメンタリー映画祭
 アムステルダム国際ドキュメンタリー映画祭
 アムステルダム国際ドキュメンタリー映画祭
 アムステルダム国際ドキュメンタリー映画祭

あまね 旋律

khokipalu

奥深い山をこぎ下る美しい川の波紋
 幾重にも重なりあひ、紡ぎ出されるその歌は、
 人生の、生活の、仕事の、友愛の歌

インド/2017/監督:アヌシカ・マ・サークシ、イシュブル・シリクマール

海-消えたプラスチックの謎

世界の海洋に浮かぶプラスチックの99%は行方不明。
 マイクロプラスチックの捜索とその影響調査に乗り出した各地の
 科学者たちの最新研究を追う。

第4回
 グリーンイメージ
 国際環境映像祭
 グリーンイメージ大賞

フランス/2016/日本語字幕/監督:ヴァンサン・ペラジオ

12:30	開場	
13:00	『海-消えたプラスチックの謎』	53分
	市民トーク「大栗川とプラスチックごみの行方」	30分
14:40	『ほたるの川のまもりびと』	86分
	山田英治監督トーク	30分
17:00	『あまねき旋律(しらべ)』	83分
18:30	閉会	

当日券は定員に達した場合、締め切らせていただきます。
 内容は予告なく変更する場合があります。

前売チケット取扱店
 ・チケットパルテノン: 042-376-8181
 ・ベルブ永山「はらっぱ」
 ・諏訪商店街「あしたや」
 ・鶴牧商店街「カフェ・ド・ウードウー」

全日通し券 幼児は無料
 前売券 一般1,000円(アテナ会員 900円)
 当日券 一般1,500円(アテナ会員1,400円)
 小・中学生 100円(前売・当日共通)

チケット予約はこちら!

詳しい内容はWEBで!
www.taenoha.com/ev

主催: EARTH VISION多摩実行委員会
 お問い合わせは Tel: 050-5891-1977 Mail: ev19@taenoha.com

EV多摩 検索 @EarthVision.tama @evtama

上映 13:00

『海-消えたプラスチックの謎』 フランス/2016/日本語字幕/監督: ヴァンサン・ペラジオ



第4回
グリーンイメージ
国際環境映像祭
グリーンイメージ大賞

世界の海洋に浮かぶプラスチックの99%は行方不明。マイクロプラスチックの搜索とその影響調査に乗り出した各地の科学者たちの最新研究を追う。

市民トーク「大栗川とプラスチックごみの行方」

勝田淳二さん(よみがえれ、大栗川を楽しむ会)

プラスチックの海洋汚染のニュースをみるようになりました。海を漂うプラごみの映像は強烈です。普段使っているプラスチックだけに考えさせられます。私たちの身近にある大栗川からプラごみの問題を一緒に考えてみませんか。



上映 14:40

『ほたるの川のまもりびと』 日本/2017/監督: 山田英治



第5回
グリーンイメージ
国際環境映像祭
グリーンイメージ賞

ごく普通の暮らしを、ごく普通にしたい。

朝、子どもたちが学校に行く、父と娘がキャッチボールをしている、季節ごとの農作業、おばあちゃんたちがおしゃべりをしている。それは一見、ごく普通の日本の田舎の暮らし。昔ながらの里山の風景が残る、長崎県川棚町こうぼる地区にダム建設の話が持ち上がったのが半世紀ほど前。50年もの長い間、こうぼる地区の住民たちは、ダム計画に翻弄されてきました。現在残っている家族は、13世帯。長い間、苦楽を共にしてきた住民の結束は固く、54人がまるで一つの家族のようです。ダム建設のための工事車両を入れさせまいと、毎朝、おばあちゃんたちは必ずバリケード前に集い、座り込みます。こんなにも住民が抵抗しているのに進められようとしている石木ダム。この作品には「ふるさと=暮らし」を守る、ぶれない住民ひとりひとりの思いがつまっています。

上映後、山田英治監督トーク

上映 17:00

『あまねき旋律(しらべ)』 インド/2017/監督: アヌシュカ・ミーナークシ、イーシュワル・シュリクマール



誰にも知られていなかったインド東北部・ナガランド州の山々に響く歌声をとらえた世界各国の映画祭で人々を静かに魅了した音楽ドキュメンタリー

インド東北部、ミャンマー国境付近に位置するナガランド州。そこに広がる棚田には、いつも歌が響いている。村人たちは信じられないほど急な斜面に作られた棚田の準備、田植え、穀物の収穫と運搬といった作業を、機械が入りにくい土地のためすべて人力で、グループごとに行っている。そして、その作業の間はいつも歌を歌う。季節の移り変わりの豊かさ、友愛の歌、その他、生活のすべてを歌で表現している。農作業をしている最中、一人が声を発すると、それに続けて他の一人も歌いはじめる。女性も男性も一緒になって掛け合いながら歌われる「リ」と呼ばれるその歌は、山々の四方八方に広がっていく。田畑も、恋も、友情も、苦い記憶も、すべてが歌とともにある。

山形国際ドキュメンタリー映画祭・アジア千波万波部門で奨励賞と日本映画監督協会賞をW受賞した。私たちが忘れていた風景を映し出す山深い村々で古来より語り継がれてきた「歌」を巡る音楽ドキュメンタリー。



W受賞 山形国際ドキュメンタリー映画祭
アジア千波万波部門
奨励賞・日本映画監督協会賞

パルテノン多摩 アクセス

京王線・小田急線・多摩モノレール 多摩センター駅下車 徒歩5分
京王線中央改札口、小田急線改札西口より左へ パルテノン大通り(遊歩道) つきあたり

主催: EARTH VISION多摩実行委員会/共催: たえのは
提携: 公益財団法人 多摩市文化振興財団(パルテノン多摩)/後援: 多摩市教育委員会
協力: エコ・フレンドリー

盛り上げてください!
ボランティア・スタッフ
募集中

お問い合わせは下記まで
TEL 050-5891-1977